

指定管理者モニタリング結果報告書（令和５年度分）

- ・施設名：塩飽勤番所跡
- ・施設所管部課：教育部文化財保存活用課
- ・指定管理者：史跡塩飽勤番所顕彰保存会

区 分		内 容
実施時期		定期モニタリング：令和６年２月２９日（木）午前１１時３０分～ 随時モニタリング：毎月の来館者数報告書受け取り時、聞き取り調査を実施
実施方法		定期モニタリング：指定管理者業務状況聴取表により調査を実施 随時モニタリング：毎月の来館者数報告書受け取り時、聞き取り調査を実施
実施結果	① 施設の状況	展示ケース内の電球が切れているため、修繕の予定である。また、周囲の外壁に亀裂や傷みが見られるため、修繕計画を立てている。
	② 施設の利用状況	年間１,８３１人（前年度４,５９３人）※各年度１月末現在 前年度より、大幅に減少している。
	③ 施設利用者の意向把握と対応	現在アンケートは実施していないが、利用者とコミュニケーションをとり、要望等を聞いている。
	④ 管理体制	３名の管理人で交代勤務としている。土日祝は２名、平日は１～２名での管理。会長は必要に応じて出勤している。
	⑤ 管理経費	節電に努め、無駄な経費が出ないように努めている。 事業計画書の範囲内の経費で管理ができています。
	⑥ 緊急時の対応について	緊急時は管理人から会長へ速やかに連絡をとり、会長から教育委員会、消防団等へ速やかに連絡することになっている。休館日についても、異常を発見すれば会長へ連絡してもらえよう、隣家に依頼している。
	⑦その他 （指定管理者の業務遂行能力等）	指定管理者の財務状況に大きな問題はなく、指定管理業務の継続的な実施に支障は見られない。
	⑦ 改善指示事項	引き続き、利用者を増やすための方策や文化財の保存と活用を考えること。
実施結果に対する所管課の意見		施設の中や周辺の清掃を丁寧に行い、管理状況は良好である。２月に航路運賃無料キャンペーンが実施されることとなり、当該月の集客が見込める。
今後の施設管理に反映(改善)する事項		周囲の土塀漆喰壁に、き裂や傷みが生じており、大規模な修繕が必要である。また、令和７年度開催予定の瀬戸芸に向けて、塩飽勤番所顕彰保存会と協力して展示のリニューアルや誘客のイベントを実施し、より一層の集客に努めたい。